

# 社会資本総合整備計画

流山市都市防災事業計画(防災・安全)第3回変更

平成30年3月

千葉県流山市

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	流山市都市防災事業計画（防災・安全）			重点配分対象の該当
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）	交付対象	流山市	
計画の目標				

本市が平成24年度に修正した地域防災計画では東京湾北部地震（冬18時）における避難者を25,520人と想定している。避難者の大半は体育館等のある大規模な避難所である小・中学校に避難すると想定される。しかしながら、一部の学校には防災備蓄倉庫が整備されていないため、避難所である小・中学校に防災備蓄倉庫を整備し、また、余裕教を活用した防災備蓄倉庫を再整備することにより、防災資機材を備蓄することで災者の生命を守ること、さらには、生活必需品を備蓄することで、避難者の生活を確保することを目指すものである。  
また、人口が多く避難場所が少ない、中部地区において、災害時に避難場所となる防災広場を整備することで、避難者の安全の確保を目指すものである。  
さらに、近い将来、発生が危惧されている首都直下地震等が発生した場合に備え、市内の避難場所（学校・公民館等）及び防災拠点施設（市施設等）及び公園等の敷地内に耐震性貯水槽を順次設置し、避難住民の生活用水（洗浄水やトイレ水等）及び火災発生時等の消火用水の確保を目指すものである。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・防災備蓄倉庫を整備した避難場所等に5分以内に到着できる人の割合を35.6%に増加させる。
- ・防災広場を整備し近隣住民の避難所を確保することで避難者の安全を目指す。中部地区における災害予防について安全だと思う人の割合を46.4%（H26当初）から50%に増加させる。
- ・耐震性貯水槽を整備し近隣住民の避難場所等における生活用水等の確保を目指す。当市の現行基本計画（H22年度～H31年度）において16基を整備することにより、避難者3,200人（1基当たり200人）の生活用水3日分を確保し、地域防災計画による市内全域の想定避難者（25,520人）の12.5%の避難者分を確保する。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	
本市の人口（169,786人平成26年1月1日現在）に対し5分以内で防災備蓄倉庫を整備した避難場所等に到達できる人の割合。	27.4%	35.6%	35.6%	
中部地区における災害予防について安全だと思う人の割合（ながれやままちづくり達成度アンケートでの「そう思う」「どちらかといえばそう思う」人の割合）	46.4%	48.0%	50.0%	
地域防災計画による市内全域の想定避難者25,520人に対し生活用水が確保できる避難者の割合	7.1%	11.0%	11.8%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	49.4百万円	A	49.4百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	---------	---	---------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	------

交付対象事業

A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H26	H27	H28	H29	H30				
1-A-1	防災	一般	流山市	直接		流山市	都市防災総合推進事業 (地区公共)	防災広場整備事業1か所	流山市						5.2		—	
1-A-2	防災	一般	流山市	直接		流山市	都市防災総合推進事業 (防災まちづくり拠点)	防災備蓄倉庫整備の整備10か所	流山市						30.0		策定済み	
1-A-3	防災	一般	流山市	直接		流山市	都市防災総合推進事業 (地区公共)	耐震性貯水槽の整備1か所	流山市						14.2		—	
合計											49.4							

C 効果促進事業

C1 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計											...					
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月9日

計画の名称	流山市都市防災事業計画（防災・安全）			重点配分対象の該当
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）	交付対象	流山市	
計画の目標	<p>本市が平成24年度に修正した地域防災計画では東京湾北部地震（冬18時）における避難者を25,520人と想定している。避難者の大半は体育館等のある大規模な避難所である小・中学校に避難すると想定される。しかしながら、一部の学校には防災備蓄倉庫が整備されていないため、避難所である小・中学校に防災備蓄倉庫を整備し、また、余裕教を活用した防災備蓄倉庫を再整備することにより、防災資機材を備蓄することで災者の生命を守ること、さらには、生活必需品を備蓄することで、避難者の生活を確保することを目指すものである。</p> <p>また、人口が多く避難場所が少ない、中部地区において、災害時に避難場所となる防災広場を整備することで、避難者の安全の確保を目指すものである。</p> <p>さらに、近い将来、発生が危惧されている首都直下地震等が発生した場合に備え、市内の避難場所（学校・公民館等）及び防災拠点施設（市施設等）及び公園等の敷地内に耐震性貯水槽を順次設置し、避難住民の生活用水（洗浄水やトイレ水等）及び火災発生時等の消火用水の確保を目指すものである。</p>			

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	3.0	8.6	0.0	10.0	
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	3.0	8.6	0.0	10.0	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	4.0	0.0	
支払済額 (e)	3.0	4.6	4.0	10.0	
翌年度繰越額 (f)	0.0	4.0	0.0	0.0	
うち未契約繰越額 (g)	0.0	4.0	0.0	0.0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	46.5%	0.0%	0.0%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由		国の平成27年度補正予算第1号で、28年度事業を前倒しし翌年度に繰越したため。			

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	流山市都市防災事業計画 (防災・安全)		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	流山市

